

## 税制上の優遇措置

### 個人様

#### 所得税の控除

横浜国立大学基金へのご寄附は所得控除の対象です。そのうち「**学生修学支援基金**」及び「**研究等支援基金**」に対するご寄附は、確定申告の際に所得控除または税額控除のいずれかをお選びいただけます。

#### 住民税の控除

お住いの都道府県・市町村によっては、個人住民税の控除が受けられます。詳しくはお住いの各自治体の税務担当へお問合せください。

#### 相続税について

遺贈により取得された財産を相続税の申告期限に間に合うよう本学へご寄附をいただいた場合、その寄附金額には相続税が課税されません。

### 法人・団体様

法人税法第37条第3項第2号により、寄附金の全額を損金算入することができます。

## ご寄附特典

ご寄附をいただいた皆様に感謝の気持ちを込めて、様々な特典をご用意しています。

	寄附の特典	個人	法人・団体
創基150周年記念限定	創基150周年・開学75周年記念銘板 (ご寄附の累計金額) <sup>※1</sup> <small>教育文化ホール YNUミュージアム内にて ご芳名を掲示させていただきます</small>	20万円以上	100万円以上
	オリジナル返礼品	1万円以上	-
高額寄附者銘板 <sup>※1※2</sup>	銘板(ゴールド)の掲示	1億円以上	1億円以上
	銘板(シルバー)の掲示	1,000万円以上	5,000万円以上
	銘板(グレー)の掲示	100万円以上	1,000万円以上
その他の謝意	記念楯の贈呈 <sup>※1※2</sup>	500万円以上	1,000万円以上
	感謝状の贈呈 <sup>※1</sup>	30万円以上	100万円以上
	御礼状・WEBご芳名録への掲載 <sup>※3</sup>	ご寄附をいただいた全ての皆様	

※1: 原則として個人または、一法人・団体につき1回までといたします。

※2: 高額寄附者銘板及び記念楯の贈呈は、本学へのご寄附累計金額が該当金額に達し次第ご案内いたします。

※3: ご芳名の公表を希望されない方につきましては、掲載いたしません。

### 横浜国立大学 卒業生・基金担当

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1

TEL : 045-339-4443 / E-mail : ynu.kikin@ynu.ac.jp

横浜国立大学基金

<https://kikin.ynu.jp/>



## 横浜国立大学基金 2024年度活動報告書

# YOKOHAMA NATIONAL UNIVERSITY FUND





皆様には、日頃より横浜国立大学の教育・研究活動にご理解、ご支援をいただき厚く御礼申し上げます。この報告書では、皆様からのご支援の賜物である『横浜国立大学基金』で実施した支援活動をご報告いたしますので、ご一読いただければ幸いです。

今世紀、日本を含む先進諸国は低成長と財政危機、少子高齢化、感染症の拡大、大規模災害、環境問題など多くの困難な課題に直面しています。このような時代であるからこそ、国立大学は、学問の発展と新たな価値の創出、イノベーションの創造に貢献しなければなりません。

本学は、2024年に創基150周年・開学75周年を迎えました。建学以来の歴史の中で育まれてきた「実践性」「先進性」「開放性」「国際性」の理念(大学憲章)の下に、人文系、社会系、理工系などの多様な専門性を有する教員がOne Campusに集い、社会実践を重視した教育研究を行うとともに、各分野で第一線の学術研究成果

をあげてきました。そして、この先の未来に向けて、一人一人が豊かにその力を発揮し、本学がさらに発展すべく、「多様性」の精神を追加しました。

今後も本学は、国や地域のイノベーション創出の中心的役割を果たしたいと願っています。そのため、多様な学術知・実践知を動員し、産業、地域、市民等の多様なセクターと国内外を問わず、分野を超えてオープンに連携することで、「新たな社会・経済システムの提案」や「イノベーションの創出・科学技術の発展」に資する「知の統合型大学」として「世界水準の研究大学」を目指します。

横浜国立大学が、皆様と目指すべき素晴らしい未来へともに歩みを進めていくために、これからもご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

*Izuru Umehara*

横浜国立大学 学長 梅原出

# 横浜国立大学基金は「学びたい」「挑戦したい」を応援します。

横浜国立大学基金は、大学憲章の基本理念に基づき、世界に貢献する高い志を持った学生や若手研究者の育成のため、皆様からのご寄附をもとに様々な支援事業を行います。その支援は修学支援、研究支援、国際交流支援、共生社会の実現、施設・設備の充実、課外活動支援など多岐にわたり、時代の移り変わりに応じて必要な事業に活用します。

## 一 横浜国立大学憲章

横浜国立大学は、現実の社会との関わりを重視する「実践性」、新しい試みを意欲的に推進する「先進性」、社会全体に大きく門戸を開く「開放性」、海外との交流を促進する「国際性」を、建学からの歴史の中で培われた精神として掲げ、一人一人の在り方を尊重し合う「多様性」を重んじ、世界の学術研究と教育に重要な地歩を築くべく、努力を重ねることを宣言する。この理念を実現するために以下のことがらを長期の目標として定める。

### 実践性

諸問題の本質を見極め、時代の変化に対応し得る柔軟で創造的な課題解決能力を涵養する。現実の生きた社会に原点を置く学問を志向し、教育と研究の成果をもって社会の福祉と発展に貢献する。

### 先進性

教育、研究、社会貢献において、自由な発想と斬新な取り組みにより、社会の変化に柔軟に対応し、多様な学術知・実践知を活かして、先進的な研究を推進し、人類の知的発展に貢献する。

### 開放性

市民生活から地域、産業界、国、世界にまで至る幅広い視野を持ち、学生と教職員の主体的な社会参画により、教育、研究などすべての面で開かれた大学として社会に貢献する。

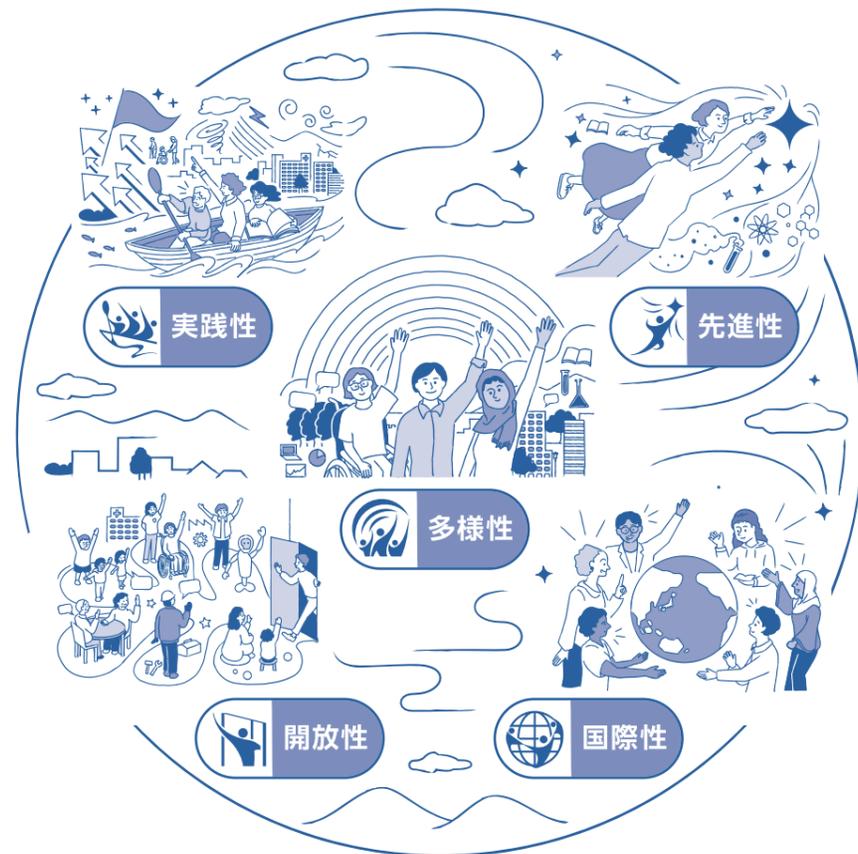
### 国際性

諸外国との交流を促進し、異文化を理解し、世界を舞台に活躍できる人材を育成して、多様なルーツを持つ人々との交流・協働によって、教育と研究を通じ国際社会の発展に貢献する。

### 多様性

人間と学問の多様性を教育・研究の礎として、新しい価値を共創していくために、性別、障がい、国籍などを超えて、多様な学生と教職員が尊重し合い共生・協働していく場を構築し、一人一人が豊かにその力を発揮できるようにする。

以上を旨とする横浜国立大学は、透明性の高い組織と適切な運営のもとで、個性ある大学として豊かな知を育む。さらに、都市空間に在りながら、きわだって緑豊かなキャンパスを有する本学に集うすべての学生と教職員は、恵まれた環境を維持しつつ、心身ともに健康な大学生活を営むことを目指す。



# 横浜国立大学基金

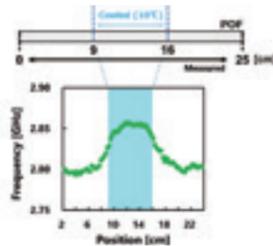
横浜国立大学基金は本学の大学憲章に掲げる、実践性、先進性、開放性、国際性、多様性をより高め、教育・研究環境の向上及び社会貢献活動の推進を支援します。お寄せいただいた寄附金は、上述の目的を達成するために広く活用させていただきますが、その用途を大学にお任せいただける方は、こちらの基金にご寄附をお願い申し上げます。

実施事業例

若手研究者支援（査読付国際ジャーナル論文投稿支援事業）／  
T.I.M.E. Associationによるダブルディグリーにおける奨学金事業／ROUTE支援／  
ROSEプログラム支援／課外活動支援／学部・学科支援／施設・設備の充実化

## 研究者インタビュー

水野 洋輔 大学院工学研究院 准教授



### -先生の研究テーマについて教えてください。

私は、光ファイバ中の散乱・干渉現象を応用し、構造物のひずみや温度を高精度かつ連続的に計測する「分布型センシング」の研究に取り組んでいます。標準的なシリカガラス製光ファイバに加えて、プラスチック光ファイバを用いたセンシング手法の開発にも注力しており、従来は困難であった柔軟性や安全性を活かした新たな応用展開を目指しています。また、センシングシステムの根幹をなす変調方式や信号処理手法の高度化にも取り組んでおり、高分解能・長距離対応・高速動作を兼ね備えた光ファイバセンサの実現を追求しています。

### -基金による支援事業を活用した研究活動及び成果について教えてください。

査読付国際ジャーナル論文投稿支援事業により、4件の研究成果をオープンアクセス化することができました。そのうち2件の成果については、英文による国際プレスリリースを行い、国内外の研究機関や企業に向けて広く発信しました。

1件目は、日本電信電話株式会社との共同研究に

よる論文で、国際ジャーナル Journal of Lightwave Technology に掲載されました。

2件目は、プラスチック光ファイバを用いた分布型温度センシングに関する研究で、本成果は Optical Fiber Technology 誌に掲載されるとともに、当該分野で最大の国際会議 OFS-29 において、採択率約1割という高い競争率を通過し、口頭発表として採択されました。

### -寄附者の皆様へ感謝のメッセージをお寄せください。

このたびのご支援により、研究成果を世界に向けてオープンアクセスで発信できただけでなく、国際的な可視性の向上や産学連携の促進といった波及的な効果も得ることができました。とりわけ、若手研究者にとって、こうした支援は挑戦への大きな後押しとなり、今後のキャリア形成にもつながる極めて意義深いものです。寄附者の皆様のご厚意に、心より感謝申し上げます。今後も、教育・研究活動を通じて社会に貢献し、ご支援にお応えできるよう一層努めてまいります。引き続きのご支援を賜りますよう、何卒よろしくようお願い申し上げます。

# 研究等支援基金

研究等支援基金は、学生又は不安定な雇用状態にある研究者（ポスドク等）への支援を行います。研究活動や論文刊行に要する費用、学会等への参加費の支援など、未来を担う若手研究者の育成にあたたかいご支援をお願い申し上げます。

実施事業例

博士学生を対象としたワークショップ／  
「持続可能なイノベーションを牽引するインクルーシブ・リーダーシップ養成プロジェクト」  
(YNU-SPRING事業) 学生への研究費補助

## 学生インタビュー

大学院環境情報学府 / 2023年度入学

### -あなたの研究テーマについて教えてください。



私は高齢化社会における「転倒による労働災害の予防」に貢献することを目的に、運動機能の評価手法に関する研究に取り組んでいます。特に、椅子から立ち上がるという日常的な動作に着目し、その動作中の筋力やバランス、柔軟性などを効率的かつ正確に評価する方法を開発しています。深度センサ付きカメラを用いることで、身体に触れ

ることなく3次元的な動作データを取得し、必要最小限のテストで多様な運動機能を数値的に把握できる点が特徴です。また、AI技術を用いて、少ないデータからでも高い信頼性を持つ評価を実現する手法にも取り組んでいます。この研究は労働現場での安全対策にとどまらず、医療や福祉、さらには地域住民の健康維持にも広く応用できる可能性を持っており、健康寿命の延伸に貢献できると考えています。

### -基金による支援事業を活用した研究活動及び成果について教えてください。

大学基金によるご支援を活用し、深度センサ付きカメラや身体機能測定用の機器を整備することができまし

た。これにより従来に比べて短時間で多くのデータを収集できるようになり、被験者の募集や協力依頼も円滑に進められるようになりました。また、深度センサカメラを用いることで、身体に触れずに動作を計測できる非接触型の評価が可能となり、現場での導入に向けたシステム開発にも大きく貢献しました。こうした研究基盤の整備は、高信頼な運動機能評価法の実現に直結しており、今後の実用化や社会実装に向けた大きな一歩となっています。

### -寄附者の皆様へ感謝のメッセージをお願いします。

このたびは、貴重なご支援を賜り、誠にありがとうございます。皆様からのご寄附により、研究に必要な設備を整えることができ、現場に役立つ成果へとつながる一歩を踏み出すことができました。日々の研究活動を支えてくださっていることに、心より感謝申し上げます。今後も社会に貢献できる研究を着実に進めてまいりますので、引き続き温かく見守っていただけますと幸いです。



## 👉 学生修学支援基金

学生修学支援基金は経済的な理由により修学に困難がある学生に対し、勉学・研究に集中できるように、授業料・入学料等の全部又は一部免除や奨学金の支援をします。意欲と能力ある学生が、修学をあきらめてしまうことなく希望の教育を受け、研究を続けられますよう、皆様のあたたかいご支援をお願い申し上げます。

実施  
事業  
例

新入生スタートアップ支援金 / YNU大澤奨学金 / YNU竹井准子記念奨学金 /  
八幡ねじ・鈴木建吾奨学金

### 感謝のメッセージ

理工学部 / 2022年度入学



この度は奨学金によるご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。

私は母子家庭で育ち、大学入学時から実家を出て経済的に余裕のない状態で一人暮らしをしていたため、1年次は不安の多い中過ごしていました。しかし、奨学金というご支援をいただけることになってから、アルバイトに追われることもなく、講義での学びや部活動など自身の取り組みたいことに注力できるようになりました。

現在は研究室に所属してサイバーセキュリティに関して学ぶとともに、プログラミング系の部活動に所属し、日々研鑽に努めています。大学院も含む今後の学びを通して、情報社会の安全性を担う一員となれるスキルを磨いていきたいと考えています。

改めて、奨学金を通じて学びの場を提供してくださっている皆様に心より感謝申し上げます。自由に学ぶことができている環境への感謝の気持ちを忘れず、これからも一層の努力を重ねてまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしく願いいたします。

## 🌐 国際交流基金

国際交流基金は、世界を舞台に活躍できるコミュニケーション能力を持ち、異文化を理解する人材を育成するとともに、留学生・研究者の受け入れ・派遣を促進し、教育と研究を通じた諸外国との交流の拡大を目標とした事業を行っています。皆様のあたたかいご支援をお願い申し上げます。

実施  
事業  
例

私費外国人留学生奨学金 / 国際会議等出席・海外調査等奨励金 / 交換留学派遣生奨学金 /  
海外留学支援制度（協定派遣・協定受入）採択プログラムに対する経費支援 /  
ショートビジット奨学金 / 外国人研究者等招へい事業

### 感謝のメッセージ

経営学部 / 2023年度入学



この度は交換留学派遣生奨学金をいただき、誠にありがとうございました。

私はニュージーランドのクライストチャーチ工科大学に1年間留学いたしました。自然豊かでのんびりとした生活は新鮮で、毎日が素晴らしい出会いと経験にあふれ、1日1日が宝物のように感じられました。英語で受ける授業や、現地の学生とのディスカッションは非常に刺激的で、専攻する経営学についてさらに学びを深めることができました。また、長期休暇には友人やホストファミリーと様々な場所を旅行し、雄大な自然や文化にも触れ、充実した1年となりました。

今後は、自分の将来の夢である日本と海外をつなぐ仕事を通じて社会に貢献できるよう、語学力の向上と専攻の勉強に益々励んでまいります。

横浜国立大学基金へご寄附をくださった皆様をはじめ、多くの方々のご支援によって留学が実現したことへの感謝を忘れず、この経験を通して学んだことを周囲に還元していきたいと思っております。この度は本当にありがとうございました。

## 01 YNU 新湘南共創キャンパスの創設事業

### 市民との対話体験型ワークショップ 「てくてくてっく」を新湘南で実践

藤沢市村岡地区をフィールドとして、歩くことと最新テクノロジー体験を通して、市民と学生が健康やまちづくりを考える体験型ワークショップ「てくてくてっく」を開催しました。全5回で地元市民102名、学生56名が参加しました。健康長寿のまちづくりに向けた新たなコミュニティ形成が始まっています。



てくてくてっくワークショップの様子



最新テクノロジー体験の様子

### 大学生、高校生、小中学生が共に 学ぶためのサイエンス教室を開催

湘南アイパークを会場として、本学学生らと共同で企画したサイエンス教室を2回開催しました。香水づくりには100名超の親子が参加し、化粧水づくりでは地元の高校生も運営に加わり、小中学生と共に学ぶ場が生まれました。



オリジナル香水づくり実験教室(夏休み)



まゆ玉を使った化粧水づくり実験教室(春休み)

#### 教員 メッセージ

基金を活用させていただくことで、2024年度では新湘南共創キャンパスを中核サイトとした地域連携活動を本格的に始動することができ、実践的な学生教育、市民対話ワークショップ、ビジネススクール、子供理科教室など多彩な取り組みを実施することができました。2025年度もさらに充実した全学的な教育研究に係る活動を新湘南で展開いたしますので、引き続きご支援のほどお願いいたします。

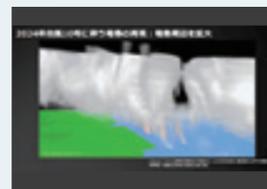
下野 誠通 総合学術高等研究院 次世代ヘルステクノロジー研究センター長 / 大学院工学研究院 准教授

## 02 台風科学技術研究センター支援事業 ～横浜国大の知を統合して、台風を「恵み」に～

### スーパーコンピュータ「富岳」を利用して、 台風に伴う竜巻の予測を可能にする 気象シミュレーションを 世界で初めて実現



報道機関を集めた記者会見の様子



「富岳」によるシミュレーション画像

### 台風に関する国際ワークショップ「IWTRC2024」を開催 11月27日～28日

台風研究の世界的権威をはじめ、世界19か国から131名（海外から47名）の台風研究者や研究者を目指す学生が横浜国立大学教育文化ホールに集結し、台風に関する最新研究の発表や研究者間の交流を通して、より一層の台風研究向上を目指すとともに台風科学技術の発展と国際研究協力の促進を図りました。



#### 教員 メッセージ

台風メカニズムの解明による台風制御研究のために、大学に雲の人工生成装置が必要です。国民の生命、財産を守るための挑戦へご支援をお願い申し上げます。

筆保 弘徳 総合学術高等研究院 台風科学技術研究センター長 / 教育学部 教授

## 03 学生支援事業

スター研究者養成事業(高度な研究者を養成する奨励金の創設) / 体育施設改修事業

### 「体育館・武道館バリアフリートイレの 整備」を行いました

体育館・武道館のバリアフリートイレのリニューアルを行いました。プライバシーや導線が大きく改善され、様々な人が利用しやすい、利便性の高いトイレになりました。



### 「課外活動用倉庫の新設」 を行いました

フットサル場横に、横浜F・マリノス様ご提供のクラブハウスが設置されることになり、それに合わせて課外活動の老朽化した倉庫を新設、運動場の一体的な利用改善を行いました。



### 「フットサル場の人工芝張り替え」を行いました

南地区のフットサル場について、安全に、学生や一般開放の利用者に思い切ったプレーをしていただけるよう、人工芝の全面張り替えを行い、機能性・安全性の向上した人工芝となりました。



張り替え前



張り替え後

#### 学生の声

人工芝張り替え後のフットサル場で部活動をしている女子ラクロス部の学生にインタビューしました。



綺麗な芝で雰囲気も明るくなり、とても快適に練習ができています。転んだ時に、手やユニフォームが汚れなくなったのがとても嬉しいです。この度は多大なご寄附をありがとうございます。関東一部リーグ昇格を目標に、応援されるチームを創っていきたいです。

教育学部 / 2022年度入学



芝が新しくなったおかげで、膝を打撲したり滑って転んだりして怪我をすることが減りました。寄附していただいた皆様に感謝しながら、“一部昇格”の目標に向かって毎日練習に励みたいと思います。ありがとうございました。

教育学部 / 2023年度入学

## 04 各学部等の周年記念事業

### 教育学部創基150周年記念事業

#### みはるかす碑を建立しました

教育学部は明治7年(1874)に神奈川県内に設置された小学校教員養成所を起源とし、令和6年(2024)に150周年を迎えました。

教育学部がまだ学芸学部であった頃に誕生した学生歌「みはるかす」は、学生の心のよりどころとして親しまれ、半世紀以上にわたり歌い継がれてきました。

教育学部では150周年を記念して「みはるかす」に込められた想いを形にするために、「みはるかす碑」を建立しました。



学生歌「みはるかす」  
作詞：加藤 英子さん（昭和34年 学芸学部卒）  
作曲：大根田 逾(とおる)さん（昭和37年 工学部卒）  
建立場所：教育文化ホール前（令和6年11月建立）  
揮毫者：教育学部 教授 青山 浩之／デザイン：教育学部 教授 原口 健一

### 社会科学系創立100周年記念事業

#### 経済学部・経営学部学生に対する修学支援事業

5年一貫教育で大学院に進学する該当者6名に対して、横浜高商創立100周年記念奨学金（Next100奨学金）を支給しました。

#### フューチャー・ホール創設事業（横浜高商初代校長田尻常雄先生胸像環境整備等）

2024年6月、建立から40年以上が経過した横浜高等商業学校初代校長田尻常雄先生の胸像の洗浄・修復を行い、胸像周辺に生い茂った樹木の剪定を行ないました。



洗浄・修復後

#### 100周年記念学術シンポジウムの開催 2024年11月10日(日)

附属図書館メディア・ホールにて社会科学系創立100周年記念式典及び記念シンポジウムが開催されました。記念式典は多くの参加者が見守るなか、梅原出学長による挨拶により開式し、来賓の方々のご祝辞を賜りました。続く記念シンポジウムでは「神奈川・横浜と高商・国大の過去現在未来」を開催し、本学教員及びゲストのパネリストの間で活発なトークと対話が披露され、盛況のうちに終了しました。



【記念式典】左から 佐藤 国際社会科学研究院長、鈴木 相模鉄道株式会社取締役、植草 富丘会理事長、鈴木 元学長、長谷部 前学長、梅原 学長  
※ 役職は開催当時



【記念シンポジウム】左から 板垣 教授、溝口 元副学長、大門 元副学長、藤田 弁護士、君島 准教授、石山 教授  
※ 役職は開催当時

## 寄附者の声



#### 横川 翔馬 様

2009年(平成21年)  
教育人間科学部卒

#### -どのような学生時代を過ごされましたか

アメフト部に所属して青春していました。素晴らしい指導者、OBOGの皆様、家族、そして共に戦った仲間たちに支えられて、学びの多い5年間を過ごしました。4年目は部活動に専念するために留年し、引退後は就職活動とコーチ業に専念しました。また、ゼミでは蝶間林先生にご指導いただき、振り返れば、常に周囲の人々に恵まれた学生生活でした。

#### -どのようなところに「横国ならではの」良さを感じますか

横浜という魅力的な立地、環境の良いキャンパス、そしてそこに集う人の魅力、でしょうか。今でもみなとみらいを歩くと、当時の甘酸っぱい思い出がふとよみがえります。都心から近く環境も良いので、教員の皆様やボランティアの方々など、多くの魅力的な人々が集まり、学生にとって豊かな成長の機会が生まれているのだと感じます。

#### -ご寄附の経緯をおきかせください

2021年にアメフト部のOBで一般社団法人横浜国立大

学マスティフスクラブを設立しました。学生のスポーツ環境を整えるために、民間スポンサーからの支援を募ることが目的です。卒業から10年、当時長い時間を過ごしたトレーニングルームの機材が全く変わっていないことに気づき、大人である私たちが大学の環境を整える努力をすべきと感じました。周囲を動かすにはまず自分からと考え、毎年大学に寄附をしています。今では複数のスポンサー様から多大なるご支援をいただき、トレーニング設備の更新やアメフト部の活動資金として活用できるようになりました。

#### -後輩たちへのメッセージをお願いします

大学生活は人生における最高の時間だと思います。学生の皆様には、横国のキャンパスで沢山の良い出会いがあることを願います。大学の皆様には、マスティフスクラブの理念や活動に共感いただき、多大なご協力をいただいていることに、改めて御礼申し上げます。アメリカの大学ではスポーツが正規の教育の一環として認知されており、大学がスポーツのコーチを雇い、スポーツ関連収入が大学の資金を支え、スポーツが大学のブランドや評判を作りあげています。アメフト部が横国を代表する良き組織になれるよう、また良き学生を社会に輩出できるよう、今後も精進して参ります。



#### 綿貫 健治 様

元 横浜国立大学  
経済学部准教授/  
KGMコンサルティング  
代表

#### -民間企業を退職後、なぜ大学教員の道を選んだのでしょうか

商社、パンアメリカン航空の勤務を経てソニーでは海外営業本部に配属され、大学院留学を含めると米仏15年間の海外駐在経験をしました。定年退職後はこの国際経験を活かし、国際社会で活躍できる人材の育成に貢献したいとの強い思いがありました。ちょうど、YNUからソニーに話があり、国際経験を買われ教育の道に進むことが出来ました。

#### -本学の国際化推進にご尽力いただきましたが、どのような取り組みをされてきたのですか？

学部と大学院では「日本経済、産業、マネジメント」を中心に、国際教育センターでは英語「JOYプログラム」、経済学部の世界銀行英語プログラムでは「日本の産業・企業」を教えました。大学国際化では経済学部の海外提携校強化、学生交流プログラム「欧州ダイ

アローグ」を創設し、大学の国際委員として世界大学ランキングを目指し、2007年度「THE-QSランキング」で354位に入れることが出来ました。当時の学長はじめ大学全体の熱気をいまだに思い出します。

#### -ご寄附の経緯をおきかせください

大変お世話になったYNUへのお返しです。私の人生に第3ステージを作ってくれました。その後、私学の特任教授となり、QSや大学などの教育機関のアドバイザーをつとめネットワークを世界に広げてくれました。当時の学部長故金澤史男先生、経済学の先生方には大変感謝をしています。協力していただいた事務の方々、国際討論会を実現させてくれた学生さんなど、充実した時間をすごせたことに心から感謝しています。

#### -最後に、学生たちへメッセージをお願いします

刻一刻と変化する現代においては、自らのキャリアを築くだけでなく、社会にどのように貢献するかが問われます。そのためには、学力、知力、社会力をしっかり身に付けることが欠かせません。ポテンシャルの高いYNUという学び場で、ぜひその力を磨き、世界に大きく成長していきましょう。

# 「 2024年度 ご寄附の受入実績 」

2024年度の

横浜国立大学基金

へのご寄附総額は、

# 785件

# 162,482,478円

に達しました。



横浜国立大学基金の活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。  
皆様からのご寄附は、大学の発展のために大切に活用させていただきます。

## 収支報告

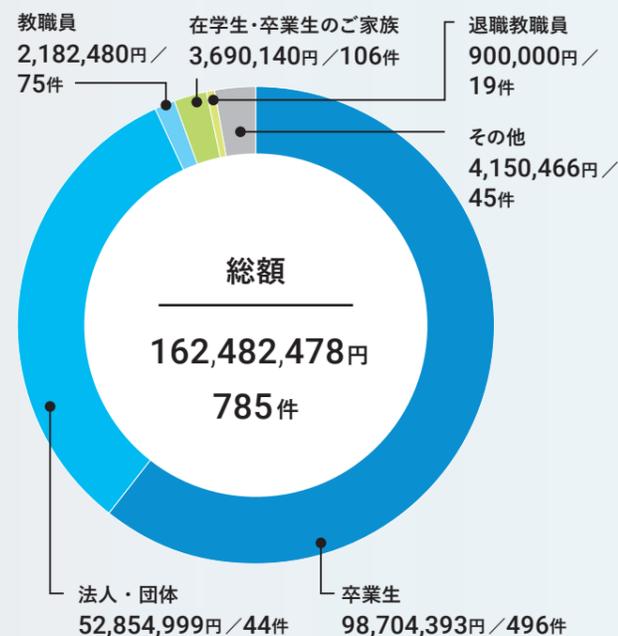
収入計 **162,482,478円**

支出計 **88,662,828円**

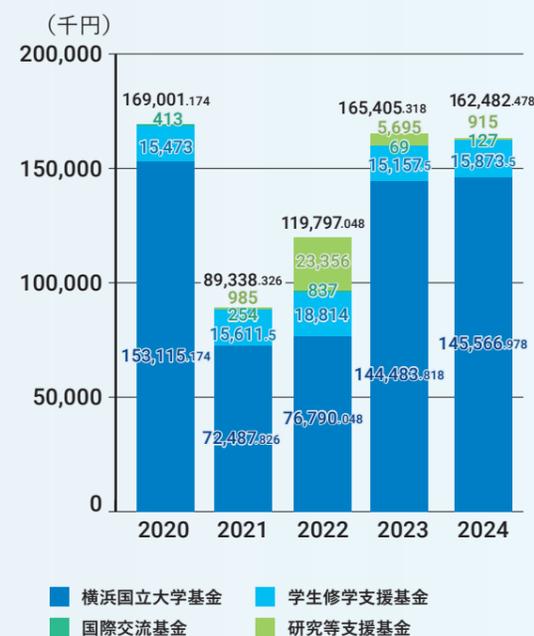
内 訳	金額
横浜国立大学基金	145,566,978 円
学生修学支援基金	15,873,500 円
研究等支援基金	915,000 円
国際交流基金	127,000 円

内 訳	金額
横浜国立大学基金	52,311,275 円
学生修学支援基金	23,722,593 円
研究等支援基金	2,829,340 円
国際交流基金	9,799,620 円

## 寄附受入実績



## ご寄附受入額の推移



※創基150周年・開学75周年記念募金事業へのご寄附は横浜国立大学基金に含めて集計しております。

# 「 2024年度 支援事業一覧 」

## 横浜国立大学基金

支援事業名称	主な用途	執行額
全学共通事業	ウクライナ支援、ダブルディグリー奨学事業、緊急学生支援、基金運営費など	8,442,804円
	オープンアクセス支援、ROUTEプログラム、ROSEプログラムの支援	13,395,486円
	各学部による独自の取組に関する支援	2,780,000円
	アメフト部、バレー部等、学生課外活動の支援	3,123,985円
	周年記念事業(新湘南ウェルビーイングコンソーシアム、体育施設改修、みはるかす記念碑工事、社会科学系修学支援金等)	24,569,000円

## 学生修学支援基金

支援事業名称	主な用途	執行額
新入生スタートアップ支援金	奨学金給付事業	3,450,000円
YNU大澤奨学金	奨学金給付事業	11,350,000円
YNU竹井准子記念奨学金	奨学金給付事業	4,722,593円
八幡ねじ・鈴木建吾奨学金	奨学金給付事業	4,200,000円

## 研究等支援基金

支援事業名称	主な用途	執行額
YNU-SPRING事業	博士後期課程学生を対象とした研究費補助	2,829,340円

## 国際交流基金

支援事業名称	主な用途	執行額
研究者招へい事業	外国人研究者等招へい	1,000,000円
国際学術交流奨励事業	私費外国人留学生奨学金、交換留学派遣生奨学金、国際会議等出席・海外調査研究等奨学金	6,300,000円
国際交流推進事業	海外留学支援制度、アカデミックキャリア支援グローバル大学院プログラム奨学金事業	1,949,620円
Y60奨学金事業	ショートビジット奨学金	550,000円

# TOPICS

## 「はまぎんYNUベンチャー支援基金」を設置しました

大学創基150周年・開学75周年記念事業として取り組むYNU新湘南共創キャンパスの創設事業の一環として、社会課題の解決を目指して新たな研究成果やビジネスモデルの事業化を支援する取組に対し、横浜銀行様からご賛同いただき寄附を通じてご支援いただくこととなりました。

大学では、この寄附を活用し「はまぎんYNUベンチャー支援基金」を設置いたしました。



### 設置基金の概要

事業主体	国立大学法人 横浜国立大学	助成先数	年間1～3件程度
内容	研究成果等を活用した起業を予定する者への基金を通じた助成金等による支援	助成金額	最大300万円/件
対象者	同大学に在籍し研究成果や新たなビジネスモデルに基づく起業を予定する教員・学生	実施期間	2024年度より10年間（予定）

このプロジェクトへのご寄附はこちらから。



## 「横浜ビジネススクール開校20周年記念プロジェクト」が始まりました

社会人に対して規模は小さくとも質の高い教育の場を提供するため、横浜ビジネススクール（YBS）は開校しました。2024年のYBS開校20周年にあたり、記念事業を実施し、さらなる飛躍を目指します。

### 事業概要

募集期間	2024年11月1日～2026年10月31日
目標額	500万円
事業内容	1. YBSコミュニティのさらなる発展 2. YBSの知名度向上への取り組み 3. YBS担当教員への研究教育支援



このプロジェクトへのご寄附はこちらから。



## 「ヨット部『常勝国大』復活プロジェクト」が始まりました

横浜国立大学 体育会ヨット部は1950年に創部し、関東インカレ総合優勝2回、全日本インカレクラス優勝1回と、かつて『常勝国大』と言われていました。当プロジェクトは、全日本インカレ常連校となってきた現在のヨット部の『常勝国大』復活を支援するプロジェクトです。

### 事業概要

募集期間	2025年3月1日～2026年12月31日
目標額	300万円
ご寄附の用途	新艇購入費（艇体、マスト・ブーム、船台・オーニング他一式）



このプロジェクトへのご寄附はこちらから。



# ご寄附の申込方法

ご寄附のお申込はこちらから



横浜国立大学基金

大学基金WEBサイトより、クレジットカード決済、銀行振込（ATM・ネットバンキング）によるご寄附のお申込をいただけます。画面右上、オレンジ色の『寄附する』ボタンをクリックし、注意事項をご確認の上、必要事項のご入力をお願いいたします。

こちらをクリックしてお手続きを進めてください



## ご寄附の払い込み方法

### クレジットカード



継続的なご寄附（毎月・年2回・年1回の自動引き落とし）もお申込いただけます。

※12月16日以降にお申込みいただいたクレジットカードによるご寄附の領収書は、翌年の日付で発行され、寄附金控除も翌年の対象となりますのでご注意ください。

### 金融機関窓口、ATM、ネットバンキング

同封の、専用の払込取扱票に必要事項をご記入いただき金融機関窓口・ATMでお振り込みください。ネットバンキングからのお振り込みにつきましては、大学基金WEBサイトよりお申し込み手続き後、自動送信されるメールに記載の指定口座（ゆうちょ銀行、横浜銀行、三菱UFJ銀行のいずれか）にお振り込みください。お振込みの際、名義人欄にお名前と「受付番号」をご入力ください。

## リサイクル募金によるご寄附

本・DVD・ゲーム等のリサイクル品を活用することで、横浜国立大学の教育・研究を支援するプロジェクトです。

ご寄附のお申込はこちらから



## 遺贈・相続によるご寄附

大学基金では、遺贈、相続によるご寄附をお申込みいただけます。遺贈（いぞう）とは、遺言書により特定の個人や団体等にご自身の財産を遺すことをいいます。

「残った財産を活用して社会への恩返しをしたい」「未来を担う次世代の人たちの為に役立ちたい」

皆様の大切な想いを、これからの世界を担う教育研究活動を通して未来へとつなげます。

遺言書の作成を通じて、ご自身の意志・想いを反映させることができます。さらに、横浜国立大学に財産を遺贈していただいた場合、当該遺贈財産は相続税の非課税資産となり、相続税を軽減することができます。また、一定額以上の遺贈をいただいた場合、ご相談の上、お名前などの冠をつけた奨学金制度などを設置することも可能です。

本学と協定を結んでいる銀行・信託銀行

三井住友信託銀行／三菱UFJ信託銀行／りそな銀行